

製品名: ニューロフィラメント重鎖ポリペプチドウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21532

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:110kD;Observed MW:180-200kD

抗原情報

遺伝子名	NEFH
別名	NEFH;KIAA0845;NFH;Neurofilament heavy polypeptide;NF-H;200 kDa neurofilament protein;Neurofilament triplet H protein
遺伝子 ID	4744.0
SwissProt ID	P12036
免疫原	ヒトニューロフィラメント重鎖ポリペプチドの合成ペプチド

背景

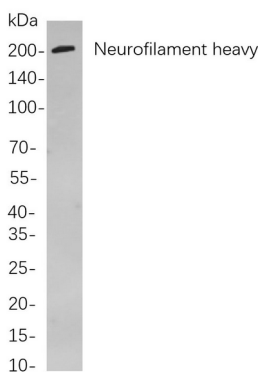
細胞局在: 細胞質。ニューロフィラメントは、軽鎖、中鎖、重鎖からなる IV 型中間径フィラメントヘテロポリマーです。ニューロ

フィラメントは軸索骨格を構成し、ニューロンのキャリブレーションを機能的に維持します。また、軸索や樹状突起への細胞内輸送にも関与している可能性があります。この遺伝子は、重ニューロフィラメントタンパク質をコードしています。このタンパク質はニューロン損傷のバイオマーカーとして一般的に用いられており、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の感受性はこの遺伝子の変異と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008年10月]

研究分野

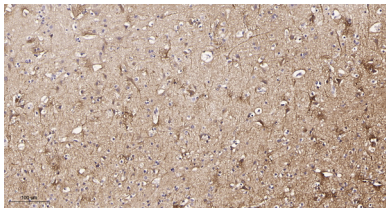
-

画像データ

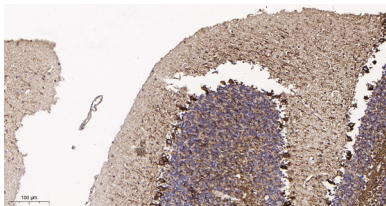


マウス脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析

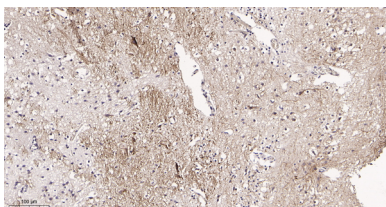
ニューロフィラメント重鎖ポリペプチドウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。1、ニューロフィラメント重鎖ポリペプチドウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。1、ニューロフィラメント重鎖ポリペプチドウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。1、ニューロフィラメント重鎖ポリペプチドウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。